

令和4年1月12日

南の風 2021 ウィンターカップ特集号Ⅴ

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

Ⅳの続きです。

その間隙を突いて桜花は、横山選手が左トップからペイントドライブを仕掛け、ダブルクラッチシュートに行く。植村選手がたまらずファウルをしてしまう。横山選手がフリースローを1本決める。

京都精華はオフェンスがかみ合っていないと感じたのか、2回目のタイムアウト。タイムアウト明け、ウチエ選手のドラッグスクリーンからエントリーした堀内選手が、そのままドリブルシュートを決める。

続けて得点したい京都精華だが、桜花のディフェンスの寄りでウチエ選手が3秒オーバータイムとなる。ここでウチエ選手がジェシカ選手と交代。残り時間2分42秒。

京都精華は、ジェシカ選手のドラッグスクリーンを利用した堀内選手が、ドライブで攻めるがシュートまで持ち込めない。もう一度外へパスして瀬川選手もドライブを試みるがディフェンスに捕まる。ルーズボールから堀内選手がポストのジェシカ選手にパスするが、これも朝比奈選手にカットされる。

パスカットから走った桜花の横山選手が、ドリブルシュートに行きファウルをもらう。横山選手がフリースローを1本決める。ここで京都精華は、ジェシカ選手がウチエ選手に代わる。残り時間1分47秒59対54 桜花リード。

得点がほしい京都精華は、堀内選手からウチエ選手にボール入れるが、桜花のディフェンスに阻まれる。ここで桜花学園がタイムアウト。京都精華ボール、残り1分29秒。

タイムアウト明け、京都精華がエンドラインスローインからウチエ選手に合わせるがシュートが外れる。リバウンドを取った植村選手が外の堀内選手にキックパス。堀内選手が3Pシュートを見事に決める。59対57 桜花リード、残り1分16秒。

桜花は落ち着いてフロントコートにボールを運び、朝比奈選手のドラッグスクリーンからエントリーして、ボールを回し、前田選手が右ワイングのペリメーターからジャンプショットを放つが落ちる。

リバウンドから京都精華の堀内選手がエントリーして、左ローポストのウチエ選手にパスを入れる。この時、瀬川、八木、植村選手の3人が右サイドに離れ、ウチエ選手をアイソレートしていた。

パスがウチエ選手に入る瞬間に、桜花の前田選手がダブルチームに行く。この瞬間ウチエ選手にコンタクトされた朝比奈選手が倒れるが、ダブルチームに来た前田選手が気になったウチエ選手は、ワンドリブル突いてボールをピックアップする。逆が空いていたので攻めようにしてまたドリブルを突いてしまう。ダブルドリブルでボールは桜花に。59対57 桜花リード、残り36秒。

桜花はガードの伊波選手が、時間をかけながらフロントコートエントリー。京都精華はプレスは仕掛けずハーフから当たり気味のディフェンス。左ワイングでボールを受けた横山選手が、ショットクロック11秒で前田選手のピックを利用すると見せかけて、リジェクトしてドライブでペイントアタック。ウチエ選手のヘルプをものとせず、フローターを見事に決める。京都精華がタイムアウト。残り20.4秒、61対57 桜花リード。

フロントコートのスローインの京都精華。ウチエ選手へのパスがカットされる。桜花の伊波選手の運びがトラベリングになるが、大勢に影響なくタイムアップ。桜花学園の大会2連覇が決まった。